

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

株式会社永谷園ホールディングス（証券コード:2899）

【据置】

長期発行体格付	BBB+
格付の見通し	安定的
債券格付	BBB+

■格付事由

- 和風即席食品の最大手メーカーである永谷園を傘下に擁する持株会社。お茶づけ、即席みそ汁、和風スープなどで高いシェアと強いブランド力を有する。主力の国内食料品事業に加え、シュークリームチェーンのピアードパパなどを手掛ける中食その他事業、フリーズドライ食品を製造・販売する海外食料品事業を有する。傘下事業会社に対する強いガバナンスを有し、グループの一体性が強いことから、当社の格付にはグループ全体の信用力を反映させている。
- 主力の国内食料品事業では、消費者の調理の簡便化ニーズを背景に即席みそ汁、ふりかけなどの需要が引き続き堅調に推移している。原材料の高騰が利益の圧迫要因となっているものの、コスト削減によって利益は回復傾向にある。ピアードパパなどを傘下に持つ麦の穂ホールディングスは、新規業態の不振や原材料コストの増加により業績の回復が遅れている。今後の店舗展開やコスト削減の成果に注目していく。海外食料品事業の中心である Chaucer グループは大手を中心とした顧客基盤を有しており、今後も安定した業績を確保できると考えられる。財務内容は Chaucer グループを傘下に持つ Broomco 社の買収に伴い 17/3 期に悪化したものの、今後は緩やかに改善していくと想定される。以上を踏まえ、格付は据え置き、見通しは安定的とした。
- 18/3 期の営業利益は 48 億円（前期比 56.6%増）と増益を計画している。Chaucer グループの通期寄与に加え、17/3 期に計上された買収に伴う諸経費がなくなる見通し。19/3 期以降も国内の人件費・物流費の増加が想定されるものの、コスト削減で吸収していくことから一定の利益を確保できる見込みである。一方、中長期的に見れば、少子高齢化に伴い和風即席食品の需要は頭打ちが予想される。現在当社が注力している中食その他事業・海外食料品事業の収益力の向上が課題である。
- 18/3 期第 3 四半期末の自己資本比率は 36.5%と、Broomco 社買収直後の 17/3 期第 3 四半期末の 34.8%と比較すると改善が進んでいる。当面大規模な投資は予定されていないことから、今後も有利子負債の削減と利益の蓄積に伴う自己資本の積み増しによって、財務構成は改善していく見通しである。なお、資産に対するのれんの規模が大きいことには留意が必要だが、現時点では子会社の業況に問題はみられない。

（担当）井上 肇・三浦 麻理子

■格付対象

発行体：株式会社永谷園ホールディングス

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	BBB+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 3 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50 億円	2016 年 7 月 28 日	2021 年 7 月 28 日	0.150%	BBB+
第 4 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50 億円	2016 年 7 月 28 日	2023 年 7 月 28 日	0.250%	BBB+

格付提供方針に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2018年3月1日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：濤岡 由典
主任格付アナリスト：井上 肇
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014年11月7日)、「食品」(2011年7月13日)、「持株会社の格付方法」(2015年1月26日)、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付の視点」(2003年7月1日)として掲載している。
5. 格付関係者：
(発行体・債務者等) 株式会社永谷園ホールディングス
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であってもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル